

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	期 別	前連結会計年度 (自平成20年4月1日 至平成21年3月31日)	当連結会計年度 (自平成21年4月1日 至平成22年3月31日)	増減金額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー				
1. 非支配持分控除前当期純利益 (△純損失)		△ 29,449	3,621	33,070
2. 営業活動によるキャッシュ・フローと 当期純利益の調整				
(1) 減価償却費		33,496	27,014	
(2) 固定資産除売却損(純額)		1,983	558	
(3) 長期性資産の減損		21,203	217	
(4) 投資有価証券売却益(純額)	△	64	△ 636	
(5) 投資有価証券の減損		5,401	632	
(6) のれんの減損		16,813	-	
(7) 退職給付引当金	△	1,390	△ 5,110	
(8) 繰延税金	△	13,895	△ 1,031	
(9) 持分法投資損益		811	2,792	
(10) 資産・負債の増減				
①受取手形及び売掛金の減少(△増加)		47,526	△ 14,440	
②たな卸資産の減少		5,776	4,977	
③その他の資産の減少(△増加)	△	7,689	4,457	
④支払手形及び買掛金・未払金の増加(△減少)	△	34,046	13,298	
⑤未払税金の増加(△減少)	△	8,044	1,995	
⑥未払費用及びその他流動負債の増加(△減少)	△	8,290	4,554	
(11)その他(純額)		1,266	△ 139	
		60,857	△ 39,138	△ 21,719
営業活動によるキャッシュ・フロー		31,408	42,759	11,351
II 投資活動によるキャッシュ・フロー				
1. 投資有価証券の売却及び償還による収入		1,742	1,004	△ 738
2. 投資有価証券の取得	△	6,151	△ 15	6,136
3. 資本的支出	△	37,477	△ 20,792	16,685
4. 施設借用保証金の減少(純額)		228	335	107
5. 有形固定資産の売却による収入		1,046	1,490	444
6. 非支配持分の買取		-	△ 106	△ 106
7. 関連会社に対する投資及び貸付金の増加	△	16	△ 931	△ 915
8. 事業の売却(現金流出額との純額)		-	431	431
投資活動によるキャッシュ・フロー		△ 40,628	△ 18,584	22,044
III 財務活動によるキャッシュ・フロー				
1. 短期債務の増加(△減少)(純額)		15,291	△ 16,282	△ 31,573
2. 長期債務の増加		20,000	305	△ 19,695
3. 長期債務の返済	△	916	△ 524	392
4. 親会社の支払配当金	△	9,507	△ 3,083	6,424
5. 非支配株主への支払配当金	△	13	△ 762	△ 749
6. 自己株式の取得	△	2,995	△ 13	2,982
7. 自己株式の売却		7	1	△ 6
財務活動によるキャッシュ・フロー		21,867	△ 20,358	△ 42,225
IV 換算レート変動の影響		△ 6,640	1,278	7,918
現金及び現金同等物の増減額		6,007	5,095	△ 912
期首現金及び現金同等物残高		40,624	46,631	6,007
期末現金及び現金同等物残高		46,631	51,726	5,095
営業活動によるキャッシュ・フローの追記				
1. 支払利息の支払額		1,257	652	△ 605
2. 当期税金の支払額		18,776	2,813	△ 15,963
キャッシュ・フローを伴わない投資及び財務活動の追記 資本的支出に関連する債務		1,567	299	△ 1,268

(5) 継続企業の前提に重要な疑義を抱かせる事象又は状況

該当事項はありません。

(6) 連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項

1. 会計原則

当期より米国財務会計基準審議会（F A S B、以下同じ）会計基準書第105号「一般に公正妥当と認められる会計原則」（旧F A S B基準書第168号「F A S B会計基準書及び一般に公正妥当と認められる会計原則の階層」）を適用しております。

これにより、F A S B会計基準書がF A S Bの認定する唯一の権威ある米国会計基準となり、従来のF A S B基準書等からのF A S B会計基準書に従った条文表示に変更しております。

2. 非支配持分

当期よりF A S B会計基準書第810号「連結」（旧F A S B基準書第160号「連結財務諸表における非支配持分—A R B第51号の改訂」）を適用しております。当基準書は親会社持分と非支配持分とを明確に特定し、識別して開示することを要求しており、従来、連結貸借対照表の負債の部と資本の部の間に分類していた少数株主持分を、非支配持分として純資産の部に含めて計上するとともに、連結損益計算書の表示区分および表示科目を変更しております。

なお、当基準書の適用に伴い、過年度の連結財務諸表の数値を組替えて表示しております。

3. セグメント報告

当期よりF A S B会計基準書第280号「セグメント報告」（旧F A S B基準書第131号「企業のセグメント及び関連情報に関する開示」）を適用しております。当基準書は、企業のオペレーティング・セグメントに関する情報の開示を規定しております。オペレーティング・セグメントは、企業の最高経営意思決定者が経営資源の配分や業績評価を行うにあたり通常使用しており、財務情報が入手可能な企業の構成単位として定義されています。

なお、当基準書の適用に伴い、過年度のセグメント情報の数値を組替えて表示しております。

なお、上記記載内容以外については、最近の有価証券報告書（平成21年6月24日提出）における記載から重要な変更がないため開示を省略します。

## (7) 連結財務諸表に関する注記事項

## 1. 1株当たり情報

当社は1株当たり利益の算出にあたり、FASB会計基準書第260号「1株当たり利益」を適用しています。1株当たり当社株主に帰属する当期純利益および希薄化後1株当たり当社株主に帰属する当期純利益の算出に用いた株式数は次のとおりです。

株式数(単位:株)	21年3月期	22年3月期
基本的	220,747,962	220,158,389
希薄化後	220,747,962	220,158,389

ストックオプションに対する希薄化効果を考慮しておりますが、21年3月期および22年3月期において希薄化効果はありません。

## 2. 包括利益

当社株主に帰属する当期純利益にその他の包括利益を加えた包括利益は次のとおりです。

21年3月期 △61,699百万円      22年3月期 11,648百万円

なお、その他の包括利益には、為替換算調整額、退職年金債務調整額、売却可能有価証券未実現損益、デリバティブ純損益の増減額が含まれます。

## 3. その他費用－純額－の主な内訳

その他費用－純額－の主な内訳は次のとおりです。

21年3月期	
長期性資産の減損	21,203 百万円
のれんの減損	16,813
投資有価証券の減損	5,401
22年3月期	
為替差損(純額)	723 百万円
支払利息	650
投資有価証券の減損	632

## 4. 重要な後発事象

該当事項はありません。

なお、リース取引、関連当事者との取引、税効果会計、金融商品、有価証券、デリバティブ取引、退職給付、ストックオプション等、企業結合等、資産除去債務に関する注記事項については、決算短信における開示の必要性が大きいと考えられるため開示を省略します。

## (8) セグメント情報

## 1. 事業の種類別セグメント情報

前連結会計年度 (自 平成20年4月1日 至 平成21年3月31日)

(単位: 百万円)

	I A B	EMC	A E C	S S B	H C B	その他	計	消去調整 他	連結
売上高									
(1)外部顧客に対する売上高	271,951	76,494	82,109	72,336	63,592	50,242	616,724	10,466	627,190
(2)セグメント間の内部売上高	10,483	47,562	3,515	5,753	240	5,263	72,816	△ 72,816	—
計	282,434	124,056	85,624	78,089	63,832	55,505	689,540	△ 62,350	627,190
営業費用	264,259	119,833	92,739	72,895	59,065	62,823	671,614	△ 49,763	621,851
営業利益(△損失)	18,175	4,223	△ 7,115	5,194	4,767	△ 7,318	17,926	△ 12,587	5,339

当連結会計年度 (自 平成21年4月1日 至 平成22年3月31日)

(単位: 百万円)

	I A B	EMC	A E C	S S B	H C B	その他	計	消去調整 他	連結
売上高									
(1)外部顧客に対する売上高	206,197	70,717	75,163	57,981	63,359	41,312	514,729	9,965	524,694
(2)セグメント間の内部売上高	5,324	43,961	691	3,898	86	8,318	62,278	△ 62,278	—
計	211,521	114,678	75,854	61,879	63,445	49,630	577,007	△ 52,313	524,694
営業費用	197,621	107,939	74,123	59,225	56,390	56,658	551,956	△ 40,336	511,620
営業利益(△損失)	13,900	6,739	1,731	2,654	7,055	△ 7,028	25,051	△ 11,977	13,074

- (注) 1. 当期よりFASB会計基準書第280号「セグメント報告」(旧FASB基準書第131号「企業のセグメント及び関連情報に関する開示」)を適用しております。当基準書の適用に伴い、前連結会計年度に係るセグメント情報の数値を組替えて表示しております。
2. 当第3四半期より、組織変更を反映し「I A B」「EMC」「A E C」「S S B」「H C B」「その他」の事業セグメントに変更しております。これに伴い、前連結会計年度に係るセグメント情報の数値を新組織区分に組替えて表示しております。

## 2. 所在地別セグメント情報

前連結会計年度 (自 平成20年4月1日 至 平成21年3月31日)

(単位: 百万円)

	国内	北米	欧州	中華圏	東南アジア他	計	消去又は 全社	連結
売上高								
(1)外部顧客に対する売上高	328,063	80,397	103,128	75,242	40,360	627,190	—	627,190
(2)セグメント間の内部売上高	109,410	832	1,095	51,791	8,323	171,451	△171,451	—
計	437,473	81,229	104,223	127,033	48,683	798,641	△171,451	627,190
営業費用	429,077	81,945	97,752	123,908	47,211	779,893	△158,042	621,851
営業利益(△損失)	8,396	△716	6,471	3,125	1,472	18,748	△13,409	5,339

当連結会計年度 (自 平成21年4月1日 至 平成22年3月31日)

(単位: 百万円)

	国内	北米	欧州	中華圏	東南アジア他	計	消去又は 全社	連結
売上高								
(1)外部顧客に対する売上高	269,143	61,154	77,607	77,136	39,654	524,694	—	524,694
(2)セグメント間の内部売上高	101,311	1,014	759	51,953	7,519	162,556	△162,556	—
計	370,454	62,168	78,366	129,089	47,173	687,250	△162,556	524,694
営業費用	358,928	62,664	76,428	120,098	43,636	661,754	△150,134	511,620
営業利益(△損失)	11,526	△496	1,938	8,991	3,537	25,496	△12,422	13,074

## 3. 海外売上高

前連結会計年度 (自 平成20年4月1日 至 平成21年3月31日)

(単位: 百万円)

	北米	欧州	中華圏	東南アジア他	計
I 海外売上高	80,954	105,717	78,544	46,379	311,594
II 連結売上高					627,190
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	12.9	16.9	12.5	7.4	49.7

当連結会計年度 (自 平成21年4月1日 至 平成22年3月31日)

(単位: 百万円)

	北米	欧州	中華圏	東南アジア他	計
I 海外売上高	61,592	83,524	78,297	42,868	266,281
II 連結売上高					524,694
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	11.7	15.9	14.9	8.2	50.7